

2023年2月22日

## 東大阪都市清掃施設組合よりごみ処理施設の建設工事を受注

日立造船株式会社を代表とする共同企業体は、このほど、東大阪都市清掃施設組合（管理者：野田 義和 東大阪市長、構成自治体：東大阪市、大東市）より、ごみ処理施設（第六工場）建設工事及び付帯工事を受注しました。



【完成イメージ】

同組合は、第四工場および第五工場の2工場体制でごみの処理を行っています。本工事は、第四工場が建設後約40年を経過し、更新時期を迎えたことから、第四工場に代わる施設として第六工場（ストーカ式焼却炉、ごみ処理能力：238トン/日（119トン/日×2炉））を建設するものです。

第六工場は、「エネルギー回収型廃棄物処理施設」としてエネルギーを有効利用するとともに、省エネルギー化を図った環境にやさしい施設とすることで、住民に理解される循環型社会及び低炭素社会の構築を目指すことを整備方針とされており、事業者の選定にあたっては、AI技術の活用を取り入れた高効率発電につながる提案が、エネルギーの有効活用や省力化の観点から高く評価されました。

当社は、1965（昭和40）年に日本初のごみ焼却発電施設を大阪市に納めて以降、ごみ焼却発電分野におけるリーディングカンパニーとして、公害対策技術や発電の高効率化、遠隔監視・支援など、様々な技術開発に取り組んできました。

現在、ごみ発電によるエネルギーはクリーンエネルギーかつ安定電源・地産地消の電源としても期待されておりますが、当社は AI・IoT など DX の活用による発電効率のさらなる向上や施設の省力化などに努め、地域循環型社会の形成に今後とも貢献していきます。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. 発注者：東大阪都市清掃施設組合  
(管理者：野田 義和 東大阪市長、構成自治体：東大阪市、大東市)
2. 共同企業体構成：代表企業 日立造船株式会社、構成員 前田建設工業株式会社
3. 建設地：東大阪市水走四丁目 6 番 25 号
4. ごみ処理能力：238 トン/日 (ストーカ式焼却炉：119 トン/日×2 炉)
5. 工期：2023 年 2 月～2031 年 3 月
6. 受注金額：293 億 8,000 万円 (税抜き)

(終)